

■有馬頼寧 華族出身ながら社会主義的活動，近衛体制づくりも画策。日常日記を遺し，有馬記念競馬に名留める。

ありまよりやす

秩父事件・1884= 東京で，旧久留米藩主の伯爵有馬頼万の長男に生まれる。母は岩倉具視五女恒子。

内閣発足・1885= 1歳：母が離縁となる。

1887= 3歳：浅草橋場町へ転居。この年，母が森有礼と再婚し，森寛子となる。

帝国憲法発布1889= 5歳：

帝国議会始・1890= 6歳：学習院初等科に入学。

郡司千島探検1893= 9歳：

日清戦争始・1894=10歳：

松隈内閣・1896=12歳：学習院中等科に進む。

この間，生母の存在を知り，自分が捨てられたと思うようになる。

教科書疑獄・1902=18歳：

日比谷公園・1903=19歳：北白川宮能久親王次女貞子女王と結婚。学習院高等科に進む。長男頼秋誕生。

日露戦争終・1905=21歳：長女静誕生。

満鉄発足・1906=22歳：東京帝国大学農科大学に入学。

韓国反日暴動1907=23歳：次男頼春が誕生。一家で青山北町に転居。

アソビ創刊・1908=24歳：次女澄子が誕生。この頃，生母と面会するも失望。

韓国併合・1910=26歳：論文「英国之農業」を提出して卒業。原照助教授に同行して「欧米に遊学，ポルトガル国王亡命に衝撃受け，

大逆事件判決1911=27歳：シベリア経由で「帰国して，農商務省に入るが，

明治天皇没・1912=28歳：三女愛子が誕生するも，

大正政変・1913=29歳：夭折。四女正子が誕生。

民本主義・1916=32歳：「河上肇が連載し始めた『貧乏物語』に触発され，出世できそうもないと覚って，

ロシア革命・1917=33歳：「辞職，母校の付属教員養成所主事となる。この間，両親の住む浅草との往復で零細民の生活を見聞し，トルストイ・河上肇・賀川豊彦の影響を受けて，社会主義思想を抱き始め，上層華族を説得して，

本格政党内閣1918=34歳：翌年にかけてスペイン風邪猛威（死者38万）。三男頼義が誕生。東大付属農業教員養成所講師を経て，

ベルリン条約・1919=35歳：佐原の医者との娘と愛人関係になり，華族離脱を考えるほど悩み確執。その親友井深八重（のち日本のマザーテレサ）がハンセン病施設に入れられる。*貧民救済活動する坂巻頭三感化受け（信愛中等夜学校）を創立，

大暴落・1920=36歳：愛人との関係終焉。八重を見舞う。賀川豊彦を訪ね以後親交。_貧民向けの無料診療所も設立。

原教首相暗殺1921=37歳：_日本教育者協会設立，部落差別打破のため（同愛会）も設立し会長，

水平社結成・1922=38歳：_（同愛会）主催で労働デー，評論集「蛙の声」，「農民離村の研究」刊行。

関東大震災・1923=39歳：震災後は自邸に同情園乳児部を開設などして救済に当たり，家計が困窮するも周囲は止められず，

護憲三派圧勝1924=40歳：一家で青山南町に転居。長男，妻の母が死去。{夜学校}を{信愛学院}と改称し改組。_学問に適さずと大学

を辞し，無所属から衆議院に当選，政友会に所属。{有馬農村問題研究所}設立。

治安維持法・1925=41歳：{同愛会}主導で全国融和連盟が結成される。治安維持法に反対，

円本時代始・1926=42歳：_貴衆両院議員を説いて融和問題研究会を設置，政府に部落問題の解決を迫るなどしたが，

金融恐慌・1927=43歳：政争に明け暮れる既成政党に失望して，新党樹立に動くうち，_父が死去して伯爵家を継ぎ，自動的に衆議

院議員を失職するとともに，恐慌で相続財産も激減して破綻し，社会事業から撤退し，

共産党事件・1928=44歳：一家で浅草橋場に戻った後，狹窪に移住。演説集「議政壇上の叫び」刊行。産業組合中央金庫監事となる。

世界恐慌・1929=45歳：白鷗女学校設立され校長。*貴族院議員に当選。近衛文麿・木戸幸一と並ぶ革新的な華族として注目され，

海軍軍縮条約1930=46歳：東京学生消費組合組合長に就任。産業組合中央会監事，

満州事変・1931=47歳：

五一五事件・1932=48歳：信愛学院・白鷗女学校が廃校となる。成立した斎藤内閣の農林政務次官に就任，

国際連盟脱退1933=49歳：産業組合中央金庫理事長を経て，

帝人疑獄事件1934=50歳：「農村問題の知識」刊行。

芥川直木賞始1935=51歳：15年ぶりに布佐に遊び感慨。全国学農連盟設立され，会長。

二二六事件・1936=52歳：産業組合中央会会頭となる。_近衛を中心とした新政党結成を企図する「荻窪会談」を開催して，

日中戦争始・1937=53歳：林内閣の文部大臣就任を固辞し，*近衛内閣成立とともに農林大臣に就任（のち中央競馬会理事長の因）。

健保+総動員1938=54歳：講演集「事変と農村」・演説集「戦時下農村と革新政治」・随筆集「農人形」刊行，農民文学懇話会が設立され，

大政翼賛会・1940=56歳：農山漁村文化協会設立され，会長。_新体制運動に参加，大政翼賛会成立とともに事務総長に就任したが，

日米開戦・1941=57歳：*復古派からの攻撃を受けて辞任するとともに，政界からも引退。

近代の超克・1942=58歳：大東亜科学経済研究会・東亜開発協会設立され，会長。帝国水産統制株式会社設立され，社長。

この間，講演集「土を語る」，随筆集「無雷庵雑記」，講演集「有声録」刊行。

敗戦・1945=61歳：徳山大空襲で危うく難を逃れる。_敗戦とともにA級戦犯として巣鴨拘置所に入れられ，

新憲法公布・1946=62歳：_釈放されるも，公職追放となり，

新憲法施行・1947=63歳：

極東裁判決・1948=64歳：「友人近衛」刊行。

独立回復・1951=67歳：「政界道中記」刊行。

メデー事件・1952=68歳：_追放解除。

TV放送始・1953=69歳：随筆集「花売爺」，自伝「七十年の回想」刊行。_社会党右派から衆議院への立候補を勧誘されるも断念，

自衛隊発足・1954=70歳：三男頼義が直木賞。

55年体制始・1955=71歳：個人雑誌「ひとりごと」発刊し。没するまで続ける。_日本中央競馬会設立とともに理事長に就任，

国連加盟・1956=72歳：自ら企画した中山グランプリ競走開催され大当たり。

なべ底不況・1957=73歳：_没した。

没後，功績を記念して有馬記念競馬となる。